

(報告) 太鼓山風力発電所、ウインドパーク笠取風力発電所及び
苫前グリーンヒルウインドパーク事故を踏まえた対応について

平成25年12月17日
商務流通保安グループ
電力安全課

1. 現状

平成25年3月13日に発生した太鼓山風力発電所における風車落下事故、同年4月7日に発生したウインドパーク笠取風力発電所における風車落下事故及び同年9月5日に発生した苫前グリーンヒルウインドパークにおける風車落下事故については、各発電所の事業者において、学識経験者等の参画による事故調査委員会での詳細な調査を経て、原因究明及び再発防止対策をとりまとめ、各産業保安監督部に対し、事故調査報告書が提出された。

これらの報告内容について、11月26日に風力発電設備構造強度ワーキンググループ(第5回)を開催し、事業者における再発防止対策等の調査内容を審議したところ、原因究明に一部留意する点はあるものの、その調査内容の妥当性について問題無い旨確認された。

また、一般社団法人日本風力発電協会からは、風力発電業界として、風車落下事故を踏まえた再発防止対策に係る提案がなされ、委員からは高い評価が得られたところ。

更に、これらの事故を踏まえた国としての再発防止対策等についても審議し、中間報告としてのとりまとめについて概ね了解を得たところ(別紙)。

2. 今後の対応

事業者における再発防止対策の実施状況を確認しつつ、中間報告における国としての再発防止対策について、技術基準の見直しを含む取り組みについて、具体化すべく引き続き検討を行う。

(別紙)「太鼓山風力発電所、ウインドパーク笠取風力発電所、苫前グリーンヒルウインドパーク事故を踏まえた今後の再発防止対策等について(中間報告書)(案)」の概要